



# 国際開発室通信

## 2013年12月 第5号



学校法人 田村学園 横浜経理専門学校  
国際開発室 発行

〒 220-0011

横浜市西区高島 2 丁目 2 番 1 1 号

☎ 045-435-5500 FAX : 045-453-2776

<http://www.tamura.ac.jp/keiri/>

### 今月号の見どころ

1. 進学先の選び方
2. 国民健康保険
3. 日本企業が期待すること

**4月生募集**の  
お問い合わせは、  
**中国語**の対応も♪

### 1 進学先の選び方

日本語学校卒業後の進学先として、**大学・短期大学・専門学校**など、どの種類の学校を選んだら良いのかは、留学生が一番悩む所です。**それぞれの学校の特徴をよく理解して、自分の目標を明確にして学びたい分野を選びましょう。**先に日本語学校を卒業した先輩たちからの情報収集も重要な情報源になります。インターネットでの情報集めも重要です。

しかし、『**百聞は一見に如かず（ひゃくぶんはいっけんにしかず）**』といます。日本語学



校在学中に学校見学や説明会・オープンキャンパスなど実際にその学校へ積極的に行ってみる事が大事です。学校の雰囲気や環境、通学時間など実際行ってみないと分からない所がたくさんあります。次のページに大学・短期大学・専門学校の違いについて表にしてありますので参考に見て下さい。



◆ 大学・短期大学・専門学校の違い

	大学	短期大学	専門学校
教育内容	学術的な研究を行う 実践よりも理論重視の傾向 教養教育などにより幅広い知識と視野を養成 ☆一般教養科目が卒業単位の4割程度	幅広い教養を身につけるとともに、職業や实际生活に役立つ能力を育成 ☆一般教養科目が卒業単位の4割程度	実践的・実務的な教育 専門教育が授業時間の大半を占める 職業と密接に関連した教育を行い、即戦力を育成 ☆専門教育が授業の約8割
学校数	780校	387校	2,837校
修業年数	4年間 (医学系、歯学系、獣医学系、薬学系は6年間) ※薬学系は4年制課程もあり	2年間 (医療系などは3年間)	1～4年間
入学方法	主に実施されているのは一般入試、推薦入試、AO入試 センター試験利用入試を導入する私立大学が増えている 地方入試や試験日選択制入試など入試方式が多様化	主に実施されているのは一般入試、推薦入試、AO入試 推薦入試で入学する比率が高い センター試験利用入試も導入されている	主に実施されているのは一般入試、推薦入試 (近年、AO入試を導入する専門学校が増加) 多くの学校が書類審査+面接で選考 定員を満たせば出願期間内でも募集を締め切る場合もある
卒業までに必要な単位数 授業時間数	124単位以上 医学または歯学に関する学科は6年以上の在籍と188単位以上の取得が必要 薬学に関する学科のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものは、6年以上の在籍と186単位以上の取得が必要 獣医学に関する学科は6年以上の在籍と182単位以上の取得が必要	2年制なら62単位以上 3年制なら93単位以上	800時間 (夜間なら450時間)以上
学位・称号	卒業生には【学士】の学位が与えられる	卒業生には【短期大学士】の学位が与えられる	【専門士】修業年数2年 【高度専門士】修業年数4年
卒業後の進路	就職：専攻の系統・分野と関連のある職業に限らず、さまざまな業界に就職 ☆就職について融通が利く 進学：大学院など	就職：専攻の系統・分野の専門職 (教育と医療等) と一般職に分かれる 編入学：大学	就職：専攻の分野と関連の深い職業に就く 編入学：大学 (専門士) 進学：大学院 (高度専門士)

※出典：進路ナビ

★学校数は平成23年学校基本調査より

## ◆ 国民健康保険には必ず加入しましょう

★留学生活で、もっとも不安なことの一つに「病気になったらどうしたらよいか？」という問題があります。もし健康保険に加入していないと、病気になった時に非常に高額の治療費を支払わなければなりません。国民健康保険への加入は、留学生活にとって、必要不可欠な条件なのです。国民健康保険は外国人に与えられた権利であると同時に義務でもあります。

★国民健康保険の加入は来日した時点から国民健康保険への加入は、来日をした時点からが原則です。したがって遅れて加入申し込みをすると、過去分の保険料の支払いを請求されることもあります。

## ◆ 国民健康保険でカバーされる医療費

医療費  
自己負担  
30%

・国民健康保険の加入者は、病気やけがで病院や診療所に行った場合、原則として医療費総額の30%を支払います。70%は保険でカバーされます。（但し、国民健康保険が適用されず、全額事故負担になる場合もあります。たとえば病院の個室などに入院した時の「差額ベッド料」、健康保険では認められない高価で特殊な治療薬を使った場合、金冠などの歯の特殊治療などです。出産・人工妊娠中絶も全額自己負担となります。）

医療費  
払い戻し

・以下のような場合、医療費の全額を支払っていても申請して審査で認められれば、保険料の70%が払い戻されます。

- (1) 突然の事故で負傷し、国民健康保険を取り扱っていない病院で治療を受けた時や急病や旅行中の病気・けがで、保険証を持たずに治療を受けた時。
- (2) 病状が重いなどの理由で、医師が必要と認めた付き添いの看護費用。
- (3) 医師の指示でマッサージ・針・灸・あんま等の治療を受けたり、骨折やねんごで接骨院の治療を受けた時。
- (4) コルセット・ギブスなどを作った費用。
- (5) 療養の給付を受けられない輸血のための生血代。
- (6) 重病人の入院・転院などの移送費。

高額療養費  
支給

・同じ人が、同じ病院に支払う医療費の負担額が、月額72,300円（住民税を支払っていない世帯では35,400円）を超えた場合、申請すると超えた額だけ払い戻しされる高額療養費の支給制度があります。ただし通院した時の診療費、差額ベッド代は対象となりません。申請については、区・市役所の国民健康保険課にたずねて下さい。

出産の時

・加入者が出産すると、出産育児一時金として42万円が支給されます。

## ◆ 国民健康保険の加入方法

★外国人登録をしている区・市役所の国民健康保険課に加入の申し込みをします。在留カードが必要です。

★同居する家族がいる場合には、家族も一緒に加入することになります。健康保険証に家族の名前が書き込まれているかどうかを、よく確認して下さい。

就職活動を始めるにあたって、日本企業が留学生に、何を求めているのかを知ることが大切です。十分な企業研究を行いましょう。

### 日本企業が留学生を採用する理由

採用実績のある企業に、留学生の採用理由を聞いたところ「国籍に関係なく優秀な人材を確保するため」という回答が最も多くなっています。次いで、「事業の国際化に資するため」、「職務上、外国語の使用が必要なため」との回答も多く、ダイバーシティ戦略や国際化に対応した理由となっています。

・国籍に関係なく優秀な人材を確保するため	65.3 (%)
・事業の国際化に資するため	37.1
・職務上、外国語の使用が必要なため	36.4
・外国人ならではの技能・発想を採り入れるため	9.4
・日本では高度な人材が集まらないため	3.8
・外国人の方が人件費コストが低く抑えられるため	0.7
・その他	5.7

### 留学生に期待する将来の役割

外国人の特性を生かした採用理由を持っている企業や海外展開の程度が高い企業以外は、日本人社員と同様に考えている企業が約半数です。

・一般の日本人社員と同様に考えている	48.9 (%)
・海外との取引を担う専門人材	19.3
・高度な技能・技術を生かす専門人材	15.5
・海外の現地法人の経営幹部	9.8
・会社・会社グループ全体の経営を担う経営幹部	3.0
・その他	1.1

### 留学生に求められる日本語能力

「報告書やビジネスレターなどの文書を作成できるレベル」とする企業が68.8%、「ビジネス上のやり取りができるレベル」が26.2%。つまり95.0%とほとんどの企業が日常会話程度を超えるレベルの日本語能力を求めています。

・報告書やビジネスレターなどの文書を作成できるレベル	68.8 (%)
・ビジネス上のやり取りができるレベル	26.2
・簡単な日常会話ができるレベル	3.1
・日本語はほとんど必要ない	0.1

### 留学生のイメージ

留学生を雇用するに当たって、企業は、協調性や忠誠心、日本語能力、定着率にマイナスのイメージを持っていると共に、仕事への意欲、能力、国際的視野の広さに対しては、プラスのイメージを持っています。 ※以下 留学生を採用した経験 ⇒ ある企業＝A ない企業＝B

	A	B	A－B (イメージのずれ)
・忠誠心がある	15.7	4.8	10.9 (%)
・協調性がある	26.0	5.2	20.8
・国際的視野が広い	38.8	30.2	8.6
・仕事への意欲が高い	54.2	27.1	27.1
・能力が高い	36.5	10.6	25.9
・キャリア意識が明確である	42.0	27.0	15.0
・自己主張が強い	50.0	42.0	8.0
・日本語能力が不足している	30.8	39.4	－8.6
・定着率が低い	26.3	35.4	－9.1
・日本の雇用慣行になじまない	12.8	29.8	－17.0
・労働条件への要求が高い	24.4	30.6	－6.2